

もしもの時に備えて

暴風雪を想定した道の駅防災訓練



ドアを切り離し、運転者(人形)を救出

暴風雪を想定した訓練では、災害発生から各機関への情報伝達訓練と、車両移動訓練を実施。情報伝達訓練は各機関の行動やタイミング、流れなどを確認しました。車両移動訓練では、道路管理者、警察、消防などが交通規制や立ち往生車を移動する際の流れや手順を確認し、素早く的確に実施しました。



避難所で使用するバルーンライトを点灯

釧根地方道路防災連絡協議会主催による防災訓練が11月2日、道の駅摩周温泉で開催されました。指定緊急避難場所である道の駅で、防災資材や防災トイレの円滑な準備実施のための作業手順確認と、冬季の暴風雪時を想定した車両移動手順などの事前確認・検証などを目的に行われました。国道241号の年間維持業者である明盛建設(尾崎幸晴代表取締役)や、弟子屈警察署・消防署など町内各関係機関が参加しました。



町の話

CloseUp Topics

持続可能な観光地域づくりを学ぶ

令和3年度てしかが観光塾



山田桂一郎さんによる講演



藻谷浩介さんによる講演

講師には国土交通省認定観光カリスマで本町のまちづくりアドバイザーも務める副塾長の山田桂一郎さんや、国内外で地域振興や人口成熟問題などに関して精力的に活動している(株)日本総合研究所調査部主席研究員の藻谷浩介さんなど、観光の地域づくりや地域・商店街の活性化に多くの実績を持つ方を迎え講座を実施。参加した塾生は熱心に耳を傾けていました。

令和3年度てしかが観光塾「SDGs×観光×サステナブルな観光地域づくり」が11月12日と13日の2日間、川湯ふるさと館で開催されました。同塾は、てしかがえこまち推進協議会が主催するセミナーで、今年で14回目。観光を担う人材を育成することを目的に毎年本町で開催しています。例年であれば全国各地から塾生が参加していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、現地参加を道東地域の方に限定。その他の地域からはオンライン会議システムを使用し、配信での講座となりましたが、あわせておよそ30人が塾生として参加しました。

予防接種集団接種に貢献

新型コロナウイルス予防接種医療従事者に感謝状を贈呈



特別養護老人ホームへ感謝状を贈呈

引き続きJA北海道摩周厚生連特別養護老人ホーム摩周(高石和恵施設長)でも贈呈式が行われ、高石施設長らに感謝状を贈呈しました。町では、集団接種は終了しましたが、引き続き希望者には摩周厚生病院で個別接種を実施しています。

町では、新型コロナウイルス感染症予防接種の集団接種に協力した町内の医療機関などに感謝状を贈呈しました。集団接種は、5月30日から始まり9月26日に完了しました。その接種にあたりご協力いただいた、布施医院、医療法人社団和久屋美里クリニック、医療法人社団信連連弟子屈クリニック、JA北海道摩周厚生連摩周厚生病院、同特別養護老人ホーム摩周、医療法人共生会川湯の森病院と医師10人に感謝状を贈呈しました。



摩周厚生病院の皆さん

10月28日には、JA北海道摩周厚生連摩周厚生病院(舛田和之医院長)で贈呈式が行われ、徳永町長から、舛田医院長らに感謝状が贈呈されました。徳永町長は、「皆さんのおかげで町民に重症患者はいなかった。本当にありがとうございます。感謝を伝えたい」と感謝を伝えました。



町の話

CloseUp Topics

元気いっぱいに発表

令和3年度認定こども園ましゅう発表会



ぞう組による「よっちょれ」



ちゅーりっぷ組による「むすんでひらいて」



くま組による「三匹のこぶた」

同園の鈴木園長は、「コロナ禍により、開催するためにたくさんご協力を頂いた。園児たちの元気な姿を皆さんに見てもらえてよかった」と話していました。

認定こども園ましゅう(鈴木幸榮園長)の発表会が10月30日、摩周観光文化センターで行われました。今回の発表会は、一部と二部の間に換気と消毒を行うなど、新型コロナウイルス感染症対策を行い開催されました。園児たちは、歌や踊り、劇など、この日のために練習してきた成果を舞台の上で元気いっぱいに発表していました。